



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場会社名 はるやま商事株式会社
コード番号 7416 URL <http://www.haruyama.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 治山 正史
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 岡部 勝之

TEL 086-226-7101

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	36,009	0.6	521	—	743	—	212	—
24年3月期第3四半期	35,782	△0.6	△215	—	△19	—	△548	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 222百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △536百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	13.10	—
24年3月期第3四半期	△33.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	54,997	31,516	57.3	1,946.40
24年3月期	54,040	31,575	58.4	1,940.93

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 31,502百万円 24年3月期 31,569百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	15.50	15.50
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.50	15.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,500	5.8	2,300	43.0	2,500	36.1	420	65.8	25.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	16,485,078 株	24年3月期	16,485,078 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	299,820 株	24年3月期	219,748 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	16,209,286 株	24年3月期3Q	16,265,342 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による落ち込みから緩やかな持ち直しの動きがみられたものの、欧州債務問題や中国経済の成長鈍化などによる海外経済の減速等の要因により、依然として先行き不透明な状況のまま推移いたしました。しかし足下では、新政権誕生後、緊急経済対策の閣議決定等を背景に円高が修正され株価も上昇する等、景気回復に向かうことが期待されています。

特に衣料品小売業界におきましては、一旦消費マインドの回復による需要が見られたものの、節約、低価格志向は依然強く、加えて長引いた残暑などの天候不順により、厳しい環境下で推移いたしました。

事業の状況といたしましては、イメージキャラクターとして「AKB48」を引き続き起用いたしました。重衣料では、超軽量仕立てで夏場に快適に着用いただける「男前クール」スーツやニット素材を使用したストレッチスーツの「男前スマート」スーツ等の高機能商品を全国の「はるやま」「紳士服マスカット」で発売いたしました。中衣料・軽衣料では、当社のベストセラー商品である「iシャツ」や「iパンツ」等の高機能商品や、「エヴァンゲリオン」とコラボした「シャツ」「ネクタイ」「カフス」「タイバー」を発売いたしました。

また、選び抜かれた素材を日本での縫製で作上げる極上の新オリジナルブランド「ROYAL FLAG」を展開いたしました。

店舗施策では、大きいサイズの店フォーエルを中心に出店を強化し、当第3四半期連結会計期間末の総店舗数は386店舗となりました。また、はるやまのブランディング再構築の一環として青森県内及び宮城県内の「紳士服マスカット」合計11店舗を「はるやま」に改称いたしました。従来の郊外型紳士服専門店から、ビジネスウェア専門店として店舗、デザインを一新、多くの男性と女性にも広く受け入れられる店舗としてスタートし、集客力アップ、ブランド構築を図ってまいります。

また、エコ活動の一環として環境省推進の「エコ・アクション・ポイント」と関西広域連合推進の「関西スタイルのエコポイント事業」に参加し、エコ活動にも積極的に参加してまいりました。

なお当社グループは衣料品販売事業以外に、100円ショップ事業、広告代理業等を営んでおりますが、重要性が乏しいため記載を省略しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高360億9百万円（前年同四半期比0.6%増）と増収となりました。営業利益は5億2千1百万円（前年同四半期は営業損失2億1千5百万円）と7億3千7百万円の利益改善、経常利益は7億4千3百万円（前年同四半期は経常損失1千9百万円）と7億6千3百万円の利益改善、四半期純利益は2億1千2百万円（前年同四半期は四半期純損失5億4千8百万円）と7億6千1百万円の利益改善となり、大幅に利益改善いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、現金及び預金が11億5千万円減少したこと等の理由により流動資産が13億1千2百万円減少いたしました。一方で、新規出店・既存店の改装等により固定資産が22億7千万円増加したことなどにより、総資産は前期末に比べ9億5千7百万円増加し、549億9千7百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金が24億3千2百万円減少、未払法人税等が5億9千5百万円減少、借入金の返済により長期借入金が4億3千9百万円減少いたしました。一方で、買掛金の支払いサイトを変更したこと等による運転資金の調達により短期借入金が34億円増加したこと等の理由により、負債合計は前期末に比べ10億1千6百万円増加し、234億8千万円となりました。

純資産につきましては、2億5千2百万円の期末配当を実施した一方で、2億1千2百万円の第3四半期純利益を計上したこと等により、利益剰余金が3千9百万円減少したこと等の理由により315億1千6百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月7日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ16,533千円増加しております。

(たな卸資産の収益性の低下に基づく簿価切下げにおける見積りの変更)

通常の販売目的で保有するたな卸資産の収益性の低下による簿価切下げ額の算出方法については、在庫管理システム（新MDシステム）の環境整備を契機に、第2四半期連結会計期間より、従来の「滞留期間に応じ、評価減率を用いて段階的に簿価を切り下げていく見積り方法」から、「一定期間経過後に簿価を処分見込額まで切り下げる見積り方法」に変更しております。

この変更は、当社の保有するたな卸資産の収益性の低下の事実をより適切に財政状態及び経営成績に反映する方法への変更であり、これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の売上総利益、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益がそれぞれ329,735千円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,791,566	5,641,388
受取手形及び売掛金	77,466	73,121
商品	11,854,073	12,667,788
貯蔵品	62,800	51,276
その他	4,597,515	3,635,704
貸倒引当金	△2,783	△1,512
流動資産合計	23,380,638	22,067,766
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,526,403	6,422,352
土地	12,211,179	12,211,179
その他(純額)	988,171	1,702,083
有形固定資産合計	18,725,754	20,335,615
無形固定資産		
のれん	31,500	13,781
その他	826,086	833,455
無形固定資産合計	857,586	847,236
投資その他の資産		
差入保証金	6,433,799	6,774,768
その他	4,680,165	5,002,109
貸倒引当金	△37,696	△30,055
投資その他の資産合計	11,076,268	11,746,822
固定資産合計	30,659,609	32,929,675
資産合計	54,040,248	54,997,441
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,729,528	8,297,464
短期借入金	—	3,400,000
1年内返済予定の長期借入金	909,798	626,348
未払法人税等	607,052	11,694
ポイント引当金	694,661	676,895
賞与引当金	8,000	170,519
役員賞与引当金	—	6,858
店舗閉鎖損失引当金	96,032	102,092
資産除去債務	20,379	31,858
その他	3,267,051	3,821,608
流動負債合計	16,332,502	17,145,338
固定負債		
長期借入金	2,180,498	1,740,987
退職給付引当金	1,840,050	1,918,583
資産除去債務	900,064	932,298
その他	1,211,157	1,743,259
固定負債合計	6,131,770	6,335,128
負債合計	22,464,273	23,480,467

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,991,368	3,991,368
資本剰余金	3,864,978	3,864,978
利益剰余金	23,969,362	23,929,536
自己株式	△287,744	△325,024
株主資本合計	31,537,963	31,460,858
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,833	35,626
繰延ヘッジ損益	2,075	6,475
その他の包括利益累計額合計	31,908	42,101
新株予約権	6,102	14,014
純資産合計	31,575,975	31,516,974
負債純資産合計	54,040,248	54,997,441

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	35,782,852	36,009,401
売上原価	16,515,609	15,220,291
売上総利益	19,267,242	20,789,110
販売費及び一般管理費	19,482,647	20,267,209
営業利益又は営業損失(△)	△215,404	521,900
営業外収益		
受取利息	24,358	24,505
受取配当金	5,929	10,910
受取地代家賃	230,615	226,183
店舗閉鎖損失引当金戻入額	53,109	—
その他	48,081	84,068
営業外収益合計	362,094	345,668
営業外費用		
支払利息	59,755	47,774
賃貸費用	78,952	73,461
その他	27,625	2,671
営業外費用合計	166,334	123,906
経常利益又は経常損失(△)	△19,643	743,662
特別利益		
固定資産売却益	34	—
受取補償金	19,422	—
特別利益合計	19,456	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	18,294
固定資産除売却損	98,878	170,907
減損損失	13,874	7,819
事業譲渡損	—	51,645
店舗閉鎖損失引当金繰入額	10,000	18,000
災害による損失	12,502	—
その他	4,169	—
特別損失合計	139,424	266,666
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△139,612	476,995
法人税、住民税及び事業税	130,933	143,047
法人税等調整額	278,263	121,661
法人税等合計	409,196	264,708
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△548,808	212,287
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△548,808	212,287

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△548,808	212,287
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,667	5,793
繰延ヘッジ損益	△133	4,399
その他の包括利益合計	12,534	10,193
四半期包括利益	△536,274	222,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△536,274	222,480
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。